

3. 技術協力プロジェクト「小中学校理数科教育改善計画」の概要

プロジェクト名 : 小中学校理数科教育改善計画

協力期間 : 2000 年 3 月 1 日～2005 年 2 月 28 日

相手国実施機関 : 教育省、ガーナ教育サービス (GES) 教師教育局

プロジェクトサイト : 首都アクラ ガーナ教育サービス教師教育局 (本部)

北アクアピン郡アクロボン (プレスビテリアン教員養成校) a 地区

西アダンシ郡アクロケリ (アクロケリ教員養成校) b 地区

タマレ郡タマレ (バガバガ教員養成校) b 地区

PDM 概要 (2002 年 12 月改訂)

プロジェクト目標 : 小中学校教員の理数科を教える力の向上

(対象は小学校高学年の教師と中学校理数科教師)

上位目標 : 小中学校生徒の理数科学力の向上

- 成 果 :
- 1) 理数科教育の現状を把握し、それをプロジェクトデザインに活かす
 - 2) 現職教員研修プログラムを a 地区で確立し、校内研修と関連づける
 - 3) 2) でできた研修プログラムを b 地区で実施する
 - 4) 現職教員研修の制度化を支援し政策への働きかけを行う
 - 5) 理数科教育に関する啓蒙と情報発信を行う
 - 6) モニタリングと評価を必要に応じて行う

- 活 動 :
- 1) 上記 3 郡における現職教員研修の実施 (教員養成校を拠点にして前後 3 日間の計 6 日間)
 - 2) 教科書、シラバス、教材、自主学习教材、およびマニュアルの配布
 - 3) 理数科フェア (年に一度、a 地区)
 - 4) 2003 年度より a 地区で校内研修 (新任者研修およびカリキュラムリーダー研修)
 - 5) モニタリング
 - 6) ニュースレター

専門家派遣状況

長期専門家 : 6 名 (チーフアドバイザー、業務調整、理科 2 名、数学 2 名)

短期専門家 : ベースライン調査支援、セミナー講師、現職教員研修支援 (理科・数学)、理数科フェア支援、モニタリング評価計画策定など年間 5 名程度

他のスキームとの連携

- ・ノンプロ無償見返り資金
- ・国別特設研修 (ガーナ理数科教育)
- ・長期研修・文部科学省奨学金など (広島大学、鳴門教育大学、信州大学、シンガポール国立大学などで修士課程修了者 2 名、履修中 4 名)

国内コンソーシアム

広島大学、福岡教育大学、宮崎大学、信州大学